

令和元年6月28日現在

機関番号：32697

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2018

課題番号：16H01901

研究課題名(和文)パウッタコーシャの新展開—仏教用語の日英基準訳語集の構築—

研究課題名(英文) Further Development of the Baudhakosa: The Creation of Standard Japanese-English Glossary of the Important Buddhist Terms with Their Illustrative Sentences

研究代表者

斉藤 明 (Saito, Akira)

国際仏教学大学院大学・仏教学研究科・教授

研究者番号：80170489

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 30,600,000円

研究成果の概要(和文)：パウッタコーシャ(仏教用語の宝庫)の略称をもつ本プロジェクトは、XML (Extensive Markup Language「拡張可能なマーク付け言語」)を用いて関連資料を整理し、主要な仏教用語の定義的用例とその訳文を示しつつ、それを根拠に当該用語に対する基準訳語(日本語・英語)を提供することを目的とする。3年間に遂行されたこれらの研究成果はすでにWeb媒体([http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~b\\_kosha/start\\_index.html](http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~b_kosha/start_index.html))および紙媒体(5冊)で公開した。その中には、心身を構成する75の要素説(『俱舍論』を中心とする五位七十五法)の英語版も含まれる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

仏教思想に関心を抱く人は少なくない。しかしながら、難解な術語や訳語が多いこともあって、仏典の正確な理解を望んだとしても、かなり壁が厚いのも事実である。本プロジェクトは、このような問題の克服をも視野に入れ、主要な仏教用語の定義的用例とその訳文を示しつつ、それを根拠に当該用語に対する基準訳語(日本語・英語)を提供することを目的として遂行された。3年間の成果は5冊の本(パウッタコーシャ(仏教用語の宝庫)シリーズ他)とともに、Web上での公開も実現した。これらの研究成果は、上記の問題の克服に向けて着実に貢献するところがあり、学術的にも、また社会的にも意義は大きい。

研究成果の概要(英文)：The objective of this research project is to take up for consideration the important scriptures and treatises that were composed in India, extract the definitions (or rules about usage) of terms used in those works, and, as well as comparing these, establish standard translations in both Japanese and English. The research was executed by the effective use of XML (Extensive Markup Language).

The three years' term of this research from 2016 to 2018 has seen its outcome opened to public in five books as well as in the Website ([http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~b\\_kosha/start\\_index.html](http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~b_kosha/start_index.html)). Among those results is The Seventy-five Elements (dharma) of Sarvastivada in the Abhidharmakosabhasya and Related Works which was published in English in 2018.

研究分野：インド哲学仏教学

キーワード：仏教学 仏教用語 基準訳語 定義的用例 パウッタコーシャ

## 1. 研究開始当初の背景

仏教の経典や論書にはきわめて多くの専門用語が登場する。その中の多くは、サンスクリット語やパーリ語をふくむ中期インドアリアン語を基礎としながら他の諸言語への訳語、とくに漢訳語として定着した術語(「四聖諦」「五蘊(陰)」「無我」「縁起」等々)として、東アジアの仏教世界において広く受容され、今日にいたっている。また、これらの専門用語には、インド由来の概念を基礎としながらも、中国仏教の展開過程において成立した術語(「理事無礙」「十界互具」「草木成仏」等々)も少なくない。

いずれも、ゴータマ・ブッダはもとより、経律両典の伝承者や諸論師の研ぎ澄まされた知性や感性が反映したものといえるが、加えてまた、諸経論の翻訳者、さらにはまた思想史的な背景や学派の伝統をふまえながら、それぞれの思想を表明するに相応しい術語を創造した諸論師の苦勞も見のがせない。伝統的な術語の中には、「縁起」「無我(非我)」「中道」など、簡にして要を得た絶妙な訳語も多く、これらはすでに日本語として定着して久しい。

しかしながら、二千四百年を超える歴史を刻んできた仏教にとって、これら多くの術語の意味をそれぞれの文脈において再検証し、その上で、学界の衆知を結集して、これらの術語を現代語として蘇生させるという試みはきわめて重要な意味をもつ作業と考えられる。その目的は、インドにおいて成立した主要な経論を取りあげ、そこに採用される術語の定義的ないし主要な用例を抽出し、比較検討を加えるとともに、それらの用例を基礎に当該術語の基準的な訳語を提示し、Web 上での公開ならびに関連パネル等での意見交換をへて、基盤的ながらも信頼度の高い成果を公にすることにある。

現代日本語への翻訳に際しては、哲学・倫理学、中国哲学、宗教学等の隣接分野における専門用語の翻訳事情を勘案するとともに、日本語・日本文学等の関連分野における仏教用語の定着度を考慮することも欠かせない。とともにまた、その評価はさておき、現代における文化レベルでのグローバル化(越境、全球化)現象を直視するとき、国や民族の相違を超えて共通語としての機能を増大しつつある英語への翻訳もまた視野に入れ、国際的な学术交流のもと、積極的に対応する必要があると考えている。

インド学仏教学の分野は、従来から研究者間の国際交流は盛んであり、国際サンスクリット学会、国際仏教学会、国際チベット学会等の定期的な国際学会のほか、多くのワークショップも随時開催され、専門研究の深化と情報交換の機会提供という両面において多くの実績をあげている。これと並行してまた、各種の大蔵経を含むテキストデータベースや研究論文のデータベース化作業もかなり進展している。これに対して、内外の研究者にとって、緊急度がきわめて高いにもかかわらず、これまで手つかずに残されてきたのが主要な仏教用語に関する定義的あるいは主要な用例集の作成と、それを基礎にした、学界において一つの基準となる翻訳語の策定作業であった。本研究は、当該分野における国際的な学术交流の実績と、整備されつつあるテキストおよび文献データベースを活用しながら、この研究上の空白を埋めることを主眼としている。

## 2. 研究の目的

本研究は、およそ 300 の重要な仏教術語について、定義的あるいは主要な用例を根拠として提示しながら、現代語(日本語・英語)への基準的な訳語集を策定することを目的とする。本研究はとくに、英語による成果の刊行と、その Web 上での公開に重点を置く。国

際的な研究協力をも得ながら、正確で信頼度の高い基準訳語集を日本語と英語とで提供することは、当該分野における研究をさらに深化・発展させるとともに、教育上の画期的なツールにもなると考えられる。

### 3. 研究の方法

サンスクリット語、チベット語訳、漢訳他、諸種の近代語資料を処理するため、柔軟な構造と汎用性にすぐれたコンピュータ言語として知られる XML (Extensive Markup Language「拡張可能なマーク付け言語」) を用いて、およそ 300 の重要な仏教術語について、定義的あるいは主要な用例を根拠として提示しながら、現代語 (日本語・英語) への基準的な訳語集を策定する。

### 4. 研究成果

本プロジェクトを遂行した 2016-2018 年度の 3 年間に、およそ 300 の仏教用語を対象として、Web ([http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~b\\_kosha/start\\_index.html](http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~b_kosha/start_index.html)) 上での研究成果の公開ならびに 5 冊の紙媒体 (書籍) による成果刊行を実現した。

### 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 16 件)

Saito Akira, “Bhāviveka’s Concept of *Prajñā* in the Context of the Two Truths,” *Studies of Buddhist Culture* (仏教文化研究論集)18, 2017, pp. 47-58.

齊藤明「Nāgārjuna における空と縁起 - 『中論』第 24 章・第 18 偈の解釈をめぐって - 」『国際仏教学大学院大学研究紀要』21, 2017, pp. 1-32.

石田尚敬「仏教論理学派における *prajñā*」『仏教文化研究論集』18, 2017, pp. 32-49.

Yamabe Nobuyoshi, “Alayavijñāna from a Practical Point of View,” *Journal of Indian Philosophy* 46-2, 2018, pp. 283-319.

Saito Akira, “Facts or Fictions: Reconsidering Śāntideva’s Names, Life, and Works,” 『国際仏教学大学院大学研究紀要』22, 2018, pp. 145-164.

Saito Akira, “Avalokiteśvara and Brahmā’s Entreaty,” *Bulletin of the International Institute for Buddhist Studies* 1, 2018, pp. 1-13.

佐久間秀範「ヴァラビーの堅慧」『印度学仏教学研究』67-2, 2019, pp. 914-922.

齊藤明『般若心経』とアヴァローキテーシュヴァラ(観自在)『東洋の思想と宗教』36, 2019, pp. 1-22.

齊藤明『宝性論』の tathāgatagarbha (如来蔵) 解釈考』『国際仏教学大学院大学研究紀要』23, 2019, pp. 91-108.

その他 7 件

〔学会発表〕(計 15 件)

Saito Akira, “Towards Solving an Unsolved Mystery Found in the Last Chapter of Śāntideva’s *sPyod ’jug*,” 14<sup>th</sup> International Association for Tibetan Studies, Bergen (Norway), 2016.6.22.

齊藤明「Satkāyadrṣṭi と Svakāyadrṣṭi」日本印度学仏教学会第 67 回学術大会、東京大学、2016.9.3.

石田尚敬「パーヴィヴェーカ著『中観心論』から見たディグナーガのアポーハ論」日本印度学仏教学会第 67 回学術大会、東京大学、2016.9.3.

齊藤明「仏典翻訳の今昔 漢訳とチベット語訳をめぐって」第 62 回国際東方学者会議、日本教育会館、2017.5.17.

Saito Akira, "Buddha-Nature and Buddha Within?" 18<sup>th</sup> Conference of International Association of Buddhist Studies, Toronto (Canada), 2017.8.24.

齊藤明「『宝性論』の *tathāgata-garbha* 解釈考」日本印度学仏教学会第 68 回学術大会、花園大学、2017.9.2.

Tanemura Ryugen, "Ratnarakṣita on the Practice of Meditation: Its Validity and Fruits in Tantric Buddhism," 18<sup>th</sup> Conference of International Association of Buddhist Studies, Toronto (Canada), 2017.8.25.

齊藤明「『般若心経』とアヴァローキテーシュヴァラ（観自在）」早稲田大学東洋哲学会第 35 回大会、2018.6.9.

Saito Akira, "Bhāviveka vs. Candrakīrti on the Logic of MMK 1.1: Negation of Arising in the Four Possible Ways," International Workshop on Madhyamaka and the *Mūlamadhyamakārikā*, Seoul, 2018,7.27.

齊藤明「ブツダと観世（lokāvalokana）観世音／観自在の「観」の起源をめぐって」日本印度学仏教学第 68 回学術大会、東洋大学、2018.9.1.

Saito Akira, "*Prapañca* in the *Mūlamadhyamakārikā*," 4<sup>th</sup> International Workshop on Madhyamaka Studies, International College for Postdoctoral Buddhist Studies (Tokyo), 2018.12.1.

その他 4 件

〔図書〕(計 5 件)

宮崎泉・横山剛他編著『『中観五蘊論』における五位七十五法対応語』（パウツダコーシャ IV）山喜房佛書林、2017, 228 pp.

室寺義仁・高務祐輝・岡田英作編著『『瑜伽師地論』における五位七十五法対応語ならびに十二支縁起項目語』（パウツダコーシャ V）山喜房佛書林、2017, 201 pp.

パウツダコーシャ研究会編『*prajñā/paññā*（般若）の訳語をめぐって』『仏教文化研究論集』18/19（特集号）、2017.

Saito Akira et al. ed., *The Seventy-five Elements (dharma) of Sarvastivada in the Abhidharmakosabhasya and Related Works*, Bauddhakośa VI, Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 2018.10, xiv + 165 pp.

宮崎泉・横山剛他編著『『中観五蘊論』の法体系 五位七十五法対応語を除く主要術語の分析』（パウツダコーシャ VII）山喜房佛書林、2017, 228 pp.

〔産業財産権〕

出願状況（計 0 件）

取得状況（計 0 件）

〔その他〕

ホームページ [http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~b\\_kosha/start\\_index.html](http://www.l.u-tokyo.ac.jp/~b_kosha/start_index.html)

## 6 . 研究組織

### (1)研究分担者

榎本文雄 Enomoto Fumio

大阪大学

大学院文学研究科

教授

70151991

下田正弘 Shimoda Masahiro

東京大学

大学院人文社会系研究科

教授

50272448

室寺義仁 Muroji Yoshihito

滋賀医科大学

医学部

教授

00190942

高橋晃一 Takahashi Koichi

東京大学

大学院人文社会系研究科

准教授

70345239

宮崎泉 Miyazaki Izumi  
京都大学  
大学院文学研究科  
教授  
40314166

石田尚敬 Ishida Hisataka  
愛知学院大学  
文学部  
准教授  
80712570

佐久間秀範 Sakuma Hidenori  
筑波大学  
大学院人文社会系  
教授  
90225839

山部能宜 Yamabe Nobuyoshi  
早稲田大学  
文学学術院  
教授  
40222377

種村隆元 Tanemura Ryugen  
大正大学  
仏教学部  
准教授  
90401158

(2)研究協力者  
チャールズ・ミュラー Charles Muller

ドルジ・ワンチュク Dorji Wangchuk

ポール・ハリソン Paul Harrison

葉少勇 Ye Shaoyong

何歡歡 He Huanhuan

王俊淇 Wang Junqi

鄭祥教 Jung Sangkyo

ツルティム・ケサン Tsultrim Kelsang

蓑輪顕量 Minowa Kenryo

石井公成 Ishii Kosei

渡辺章悟 Watanabe Shogo

桜井宗信 Sakurai Munenobu

馬場紀寿 Baba Norihisa

新作慶明 Niisaku Yoshiaki

菊谷竜太 Kikuya Ryuta

永崎研宣 Nagasaki Kiyonori

苦米地等流 Tomabechi Toru

堀内俊郎 Horiuchi Toshio

一色大悟 Isshiki Daigo

崔境眞 Choi Kyeongjin

清水尚文 Shimizu Hisafumi

楊潔 Yang Jie

王楠 Wang Nan

劉暢 Liu Chang

生野昌範 Shono Masanori

河崎豊 Kawasaki Yutaka

名和隆乾 Nawa Ryuken

古川洋平 Furukawa Yohei

岡田英作 Okada Eisaku

高務祐輝 Takatsukasa Yuki

中山慧輝 Nakayama Keiki

横山剛 Yokoyama Takeshi

三代舞 Miyo Mai

真鍋智裕 Manabe Tomohiro

佐々木亮 Sasaki Ryo

佐藤晃 Sato Akira

林慶仁 Hayashi Keijin

野武美弥子 Notake Miyako

藤本庸裕 Fujimoto Yosuke

道元大成 Michimoto Daisei

倉西憲一 Kuranishi Ken'ichi

大塚恵俊 Otsuka Shigetoshi

伊集院栞 Ijuin Shiori